

3/25
2024年第1486号
(毎月5、15、25日発行)

大阪府歯科保険医協会
発行人 和田武
大阪市浪速区幸町1-2-33
電話(06)6568-7731(代表)
http://osk-hok.org/
●定価・年間10,000円 月1,000円
●1977年5月23日第三種郵便物認可

先発品の保険外しは撤回を！ 署名にご協力ください

内閣総理大臣殿/厚生労働大臣殿/財務大臣殿/国会議員各位
後発医薬品と先発医薬品の差額の患者負担徴収の中止を求める
歯科医師緊急要請署名

— 後発医薬品のある先発医薬品（長期収載医薬品）を使用した場合の、差額の患者負担徴収の中止を求めます

私の一言
住所：
医療機関名：
氏名：
※ご印でも結構です。

3月15日付に 同封しています

10月実施薬代の一部負担金増の中止を求める 薬代増額で進む受診抑制

政策部長 戸井逸美

政府は2024年10月から、後発医薬品のある先発医薬品（長期収載医薬品）を使用した場合に、現在の窓口負担に加えて後発医薬品（ジェネリック）との差額分に患者負担を導入することとした。協会は、歯科医師の裁量（処方権）を軽視し患者負担増につながる制度改善に反対し、歯科医師署名に取り組んでいる。

医薬品不足とさらなる混乱
医薬品の供給不足が長期化し深刻な事態となっ

リングが邪魔で重機と資材が運べない

リングが邪魔で重機と資材が運べないという問題が起きている。木造リングは当初の計画になかった。レガシーが必要だということだ。途中から

リングが邪魔で重機と資材が運べないという問題が起きている。木造リングは当初の計画になかった。レガシーが必要だということだ。途中から

大阪万博問題の焦点

3日、協会が加盟する明るい民主大阪府政をつくる会主催の集会で、元参議院議員の辰巳孝太郎氏が「大阪万博問題の焦点」と題し40分のミニ講演を披露した。能登地震後の被災地の復興・復興に関わって万博の問題点を指摘した箇所を中心に概要を紹介する。

明るい民主大阪府政をつくる会で辰巳氏講演

3日、協会が加盟する明るい民主大阪府政をつくる会主催の集会で、元参議院議員の辰巳孝太郎氏が「大阪万博問題の焦点」と題し40分のミニ講演を披露した。能登地震後の被災地の復興・復興に関わって万博の問題点を指摘した箇所を中心に概要を紹介する。

保険外しの足掛かりに

長期収載も後発医薬品もいずれも薬価基準収載（保険収載）した薬剤であり、保険給付から外す道理はない。薬価収載された医薬品を保険給付の対象外とすることはルールからの逸脱であり、これを許せば医療費削減を理由にさまざまな保険診療が保険給付から外される足掛かりになりかねない。

薬代増額で進む受診抑制

今回の薬代の増額が実施されれば、経済的理由による受診抑制や投薬・検査の拒否がさらに進むだろう（保団連実施・2022年10月の75歳以上窓口負担2倍化での患者調査より）。患者にとって必要な医療を受けたくても、受けられない状況が進むこととなる。

能登半島地震と万博

今もたくさんの方が体育館などで避難をされている。上水道は復旧が進んでいないところがある。上水道が復旧したとしても下水道が復旧しなければ十分に機能が果たせない。実は下水道の方が復旧が遅れる傾向にある。熊本地震の時は下水道の

復旧に4年半かかった。下水道は工事が難しい。

一方、万博で出た下水は此花区にある下水処理場に運ばなければならぬ。1日約1万1000立米（1立米＝1000リットル）の下水が出てくる。今、必死にインフラ整備をやっているが、今年の12月末までには下水道の工事を完了させると言っている。万博の下水道の工事は今年の12月末までにやるといふが、被災地の下水道は4年半かかるだろうとされている。本来、それを1カ月でも1年でも短くするために、資材も重機も人の力も被災地の復旧・復興のために力を入れなければならない。

2023年1月保団連実施の2022年10月から窓口負担が2割化となった患者アンケート調査より、大阪の患者の自由意見欄から

「10月から2割負担になり、受診料がいくらかかるのか心配。高齢者はいくら努力しても身体は衰えます。医療費の心配がなく受診できるようにしてほしい」（80歳）、「この10月から2割負担となり、諸物価の高騰もあり、この先が心配です」（79歳）、「上記のエの項目で、薬を減らすよう頼んでいるが、飲み続けた方が良く、勧められ体調はいいが、10年も飲んでいる」（79歳）、「医療費負担率の改訂が心配です。我慢して受診せず、病気が悪化して苦しむ貧困者が心配です」（86歳）

お礼 万博中止署名
2月5日からの1カ月で400筆

万博中止を求める署名へのご協力ありがとうございました。明るい民主大阪府政をつくる会を通じて今月、国に届けます。



写真上=保険証残せの声をあげる医師たち。同下=左から伊津氏、大橋議員

3月14日国会要請行動 歯科医療現場の声届ける

当会員「保険証を残すべき・延期すべき」が94%

協会・保団連は、現行の健康保険証を残すことを求めて3月14日、国会議員への面談・要請に取り組むとともに、国会内集会を開き、伊津進弘相談役と事務局が参加した。議員への要請では、大阪選出の柳本顕衆院議員（自民）、大橋裕子参院議員（社民）が面談に応じた。

大橋裕子参院議員（社民）は面談の中で「現在審議中の予算案でも、防衛費には際限なく予算をつけるが、少子化対策の財源を国民から広く徴収しようとするなど、国民の生活に寄り添っていない」と思えない。万博予算優先の大阪も同様だと指摘した。保険証廃止については「決して諦めない現場の先生方の声をしっかりと届けたい」と約束した。

柳本顕衆院議員（自民）は、現行の保険証を廃止することについて「協会の訴えをはじめ様々な意見があることを認識している。将来的な事務の効率化・利便性の向上のための制度変更の過渡期である」と理解してほしい」との見解を述べた。また自民党の政治と力ネを巡る報道について「非常に恥ずかしい話です」と詫言したうえで、「政治活動で使用したお金の使途が明確に出せる状態にしないとイケない」と私見を述べた。

協会直通番号のご案内

保険請求のご相談や年金・休業保障制度のお問い合わせは直通番号をご利用ください。

社保研究部 06-6568-7467
共済部 06-6568-7438

歯界

ガザ地区へのイスラエルの攻撃はシエノサイドであるとして国際的にも批判が高まっているが、イスラエルのネタニヤフ首相は強行姿勢を崩さない。迫害されたユダヤ民族の不遇な歴史からシオニズム運動に至る経緯について一定の理解はできるが、今のイスラエルのやり方を正当化する事は出来ない。ユダヤ人がこの地に入植した当初はパレスチナ人と共生していた。しかし第一次大戦をきっかけに英国の二枚舌外交のせいで分断され敵対するようになっていった。介入してくる大国の利権のためにユダヤもアラブも翻弄されていくのである。そしてアメリカの思惑を背景に世界有数の軍事大国になったイスラエルは、外交的解決やその他の手段を検討せず武力で物事を解決するようになっていく。しかし武力は憎しみの連鎖をうむだけである。近年、パレスチナとイスラエルの女性団体が連携して平和的解決を模索する動きが出ている。これが和平を実現するきっかけになって欲しい。

(N)